

水野広徳 71 回忌追悼法要

松山市三津で生まれた言論人・水野広徳(1875~1945)は、明治 37 年に日本海軍軍人として日露戦争に従軍し、日本海海戦史「此一戦」を出版してベストセラー作家となりました。しかし、第一次世界大戦後の欧州の悲惨な戦況視察のあと、一転して非戦を主張するようになりました。大正 10 年、軍部の反感を買い退役を余儀なくされた後も、重なる発禁処分にもひるむことなく、言論人として率直、明快な態度で自分の考えや筆を曲げることはありませんでした。

殊にアメリカを仮想敵国とした軍部の新国防方針に反対し、日本がアメリカと戦えば、東京は一夜にして焼野原になるだろうと予見した先見性は歴史が証明しています。豊富な軍事知識と近代戦争の実情を視察した経験を踏まえ、軍縮・非戦論、平和論を積極的に展開したその論理の明快さ、分析の鋭さ、思索の深さは、政治・軍事・外交・社会・思想史など近代史のいろいろな分野で大きな業績を残しています。

この反戦・反骨に生きた水野広徳の追悼法要を実施し、彼の生涯を顕彰してまいりたいと考えます。ご参集いただければ幸いです。

【日 時】平成 27 年 10 月 18 日(日) 10:30~12:30

【場 所】蓮福寺 (松山市柳井町 3-6-3)

【参加費】無 料 (定員 80 名/先着順)

《追 悼 法 要》

10 時 30 分~10 時 50 分 (墓前)

《演奏・講演会》

11 時 00 分~12 時 30 分 (2F ホール)

演奏: 箏曲「優」「水野広徳」

生田流 岳の会 主宰 白方 岳氏
小黒良江氏

講演: 水野広徳の少年時代

—自叙伝と家計簿を手がかりに—

松山市立子規記念博物館 学芸員 平岡瑛二氏

松山南高~大阪大学大学院卒

H24 特別展「水野広徳—軍服を脱いだ平和主義者—」を企画
子規記念博物館所蔵の資料を中心に水野広徳を研究



「世にこびず、人におもねらず、
我はわが正しと思う道を歩まん」

主催・発起人 蓮 福 寺・住 職
NPO法人アイムまつやま・理事長
南海放送株式会社・会 長

山岡 宏
菅 紀子
河田 正道